

行きたい、働きたい、住みたい中部へ

ものづくり産業にみる中部圏の将来

一極集中を直し、中部圏の特色を生かす国土の発展を促す「国土形成計画」シンポジウムが十一月十七日、名古屋市のミッドランドホールで開かれた。主催は国土交通省中部地方整備局と中部運輸局。中日新聞社共催。今回は、ものづくり産業を中心に「元気がよい」と言われてきた中部圏が、地域全体として今後持続的に発展するには、どんな道筋をつけるべきか。基調講演とそれを受けた四人の有識者のパネル討論には、一般市民と地域整備にかかわる行政関係者など約三百二十人が熱心に目を傾けた。

元気の背景に社会資本

車依存度の高い地域は、おおむね経済も好調です。しかし逆に自動車産業のヒコアラフに必要なのは自動車依存にどまらなくてはならず、それを力にする発想です。

インフラ維持・更新も重要

前田 全国的な長期の景気低迷の時も、名古屋を中心とする中部だけは愛知万博、中部国際空港の建設と開港などで元気がとられてきた。基本は自動車産業をはじめとする製造業の生産活動だが、この活況はいつまでも続くかどうか。中部の現状と課題は、

中部の強みは同時に課題

森川 中部が元気の背景には社会資本の充実があることは確か。しかしそれ以前に自然インフラに恵まれていることを見逃すことはできない。中部は東海と関西のまん中にあるため東名・名神高速道路や東海道新幹線など国の事業の恩恵を受けてきた。伊勢湾の天然の良港や木曾三川の水にも恵まれてきた。しかし最近

大切なのは地域の魅力化

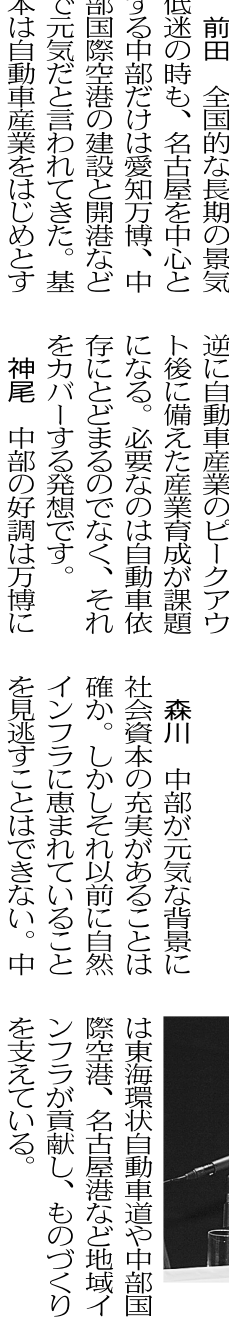
森川 産業基盤整備のうち、今いちばん大切なのは道路です。本来日本でのこの国力があれば十車線の高速度道路があってもおかしくない。国土の問題もあり物理的限界

広域連携で格差解消を

森川 道路は産業のためだけではなく、生活や観光とも一体です。文化や地域のブランドを発信する道筋としてほしい。港も貿易の拠点としてだけでなくロマンやにきわしいのある場所になってほしい。

社会資本の整備まだ必要

森川 産業基盤整備のうち、今いちばん大切なのは道路です。本来日本でのこの国力があれば十車線の高速度道路があってもおかしくない。国土の問題もあり物理的限界



前田弘司



の多さでは全国でもトップクラス。これは今後東アジアでの産業展開に大きなプラスになるはずだ。

環境への対応は企業の使命

前田 環境問題や少子高齢化への対応も重要ですね。神尾 環境問題に対応できない企業は生き残れません。各企業が自主計画を立て懸命に取り組んでいます。少子高齢化の中で地域を活性化して行くのに「道州制」は避けて通れない。広域で格差解消と活性化に取り組むしかない。

国土形成計画(全国計画)原案に対する意見募集について

このたび、全国計画の原案を作成しましたので、国民の皆様からご意見を募集します。詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/pubcom/07/pubcom.html>

基調講演 「中部圏の持続的発展」への提言 内田俊宏氏

現在好調と言われている中部圏の持続的発展は、日本経済にとっても重要です。かつて日本の企業は国内で工場を建設し、国内で人を雇い、輸出していました。しかし今は海外で工場を建設し、海外で人を雇い、海外から輸出する企業が増えてきています。高い業績を上げられる企業は限られて、好況な地域も限定されま

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、



神尾 隆氏



森川高行氏



内田俊宏氏

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

また全国の景気回復の動きは中部の生産の動きを後追いしており、中部の製造業が日本の景気をリードしていることが、はっきり分かります。中部の製造業の中核は自動車産業です。中長期的に見ると、

道路整備急ぎ新産業群育成を

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

とトヨタグループの生産拠点が国内外へ分散しており、中部の自動車生産が今後ゆるやかに鈍化していく可能性があります。従って自動車産業の成長分を補う複数の産業群を育成する必要があります。現在の製造業を大きく上回っています。

国土形成計画とは

国土形成計画は、国土の発展を促すための指針を示すものです。この計画は、国による国土づくりの指針を示すものです。この計画は、国による国土づくりの指針を示すものです。

中部圏

中部圏の地図を示す図表。岐阜県、長野県、三重県、静岡県、愛知県が示されています。

企画・制作 中日新聞広告局

今後の中部圏のより良い地域づくりに向けた計画の策定準備を進めています。

中部の地域づくりに求められるものを調査しました。

中部地方整備局では、県、市、経済界などと協働し中部圏の今後10年間の地域づくりについて検討しています。その一環としてさきごろ、行政は「どのような分野を重視すべきか」「どのような取り組みが重要か」について、中部5県(長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)における市町村(254)、事業者(681)、NPO団体(700)および住民(7000人)を対象に意識調査を実施しました。

調査方法: 郵送回収方式
調査期間: 平成19年9月~10月
回収率: 市町村78.0%、事業者62.0%、NPO35.6%、住民35.0%

皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、よりよい中部の実現をめざします。

Q どのような取り組みが重要か。
皆様からのご意見では、6つの項目ごとに特に重要な取り組みは以下のような結果となりました

社会基盤 ●道路、橋梁など老朽化した社会資本の更新・予防	環境 ●自然環境保全 ●地球温暖化対策 ●循環型社会への取り組み	産業 ●地場産業や伝統産業などの継承・振興
交流 ●地域独自の観光資源の発掘や活用	暮らし ●子育て支援や高齢者支援の充実 ●病院、市民窓口など身近な生活サービスの充実	防災 ●広域的な救助・医療等を可能にする相互応援体制強化

Q どのような分野を重視すべきか。

NPO団体や住民の方々からは「医療・福祉」、市町村や事業者からは「自然災害に対する安全対策」について多くの意見が寄せられました。

医療
福祉

NPO団体
住民
意見

市町村
事業者
意見

安全対策

国土形成計画(全国計画)原案に対する意見募集について

このたび、全国計画の原案を作成しましたので、国民の皆様からご意見を募集します。詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/pubcom/07/pubcom.html>